安心・安全で元気な地域作りを目指して

柏崎市コミュニティ推進協議会だより

第８号

【発行】
柏崎市コミュニティ推進協議会

コミュニティ全体研修会を行いました

12月4日（金曜日）

コミュニティ推進協議会では、市民活動センター中越沖メモリアル（まちから）でコミュニティ全体研修会を行い、市内31のコミュニティ協議会の会長、センター長、主事の合計約100名が参加しました。

今年度は柏崎市協働のまちづくり専門官である稲垣文彦氏より「まちからの役割と地方創生」と題して講演会を行いました。

少子高齢化・人口減少に伴う近い将来の地方消滅が問題となっていますが、柏崎市も少子高齢化、人口減少が進んでいる自治体です。

地方を元気にするために、積極的に都市部へ地域の情報を発信することが、若者の地方への定住化を促し、人口減少の対策と地域活性化につながります。

また、講演会後に、まちからの施設を見学し、中越沖地震の記録や施設について学びました。

講演会の様子

まちから施設見学

講師紹介

柏崎市協働のまちづくり専門官
稲垣文彦氏

【講師プロフィール】

公益社団法人中越防災安全機構：震災アーカイブス・メモリアルセンター長　総務省：地域力創造アドバイザー

「平成十七年、地域復興のための中間支援組織「中越復興市民会議」を創設、事務局長に就任。その後、中越防災安全推進機構復興デザインセンター長として地域復興支援員の人材育成等に従事。また、集落支援員や地域おこし協力隊等のネットワーク組織「地域サポート人ネットワーク全国協議会」の設立に尽力。」

柏崎市コミュニティ推進協議会（通称 コミ協）とは…

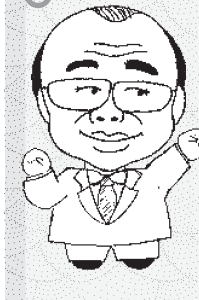
柏崎市の31地区のコミュニティ協議会が参加し、各地区の地域づくりの中心的役割を担うコミュニティ職員が各コミュニティの抱えている課題の共有や研修などを通して地域の活性化に取り組むための組織です。

第8回

元気なコミセンにお邪魔します

大洲コミュニティセンター（西部郷）

大洲地区振興会
センター長
伊藤　学



大洲コミュニティセンター

大洲コミュニティセンターは、昭和五十六年、市内12番目のコミュニティセンターとして開館しました。その後、大洲小学校と剣野小学校との分離により、平成八年にコミュニティセンターも分離し、現在に至ります。

大洲小学校区の20町内会、約一一〇〇戸で構成され、毎日利用されない日が無い程賑わっています。

三ツ石の看板

地元小学生による除幕式

大洲地区は赤坂山公園、松雲山荘、海水浴場等を有し、**「桜と紅葉と海のまち」**を謳っています。

また、柏崎陣屋跡や、社寺等の歴史的財産も数多く**「文化を育む歴史のまち」**として、それらの『想い出遺産』を次世代に語り継ぐために、看板の設置、パンフレットの作成などにも力を入れています。

ようやくゴールの天水山へ到着

平成二十一年に斑尾山から始めた信越トレイルトレッキングも、今年で13回を迎え、とうとう最終地「天水山」までたどり着きました。一年に2回のペースでしたので七年間かかりましたが、一回も休まずに参加された三名の方が、総延長約80㎞のロングトレイルを歩き切り「信越トレイル全線踏破証」を手にされました。

コミセン活動とは別に、子ども育成事業として「おおす子ども塾」を実施しています。

地域の方が講師になり、野菜作り、笹団子作り、茶道体験教室、陣屋弁当作り、チューリップの球根植え等の活動を行っています。

大人達は、子ども達と一緒に活動することで、笑顔と元気をもらっています。

茶道体験会

柏崎陣屋の勉強の一環としての陣屋弁当作り

各地のコミュニティまつり

南部郷（野田、上条、別俣、高田、鵜川）

シリーズ4回目は南部郷を取材します。

野田コミュニティでは、11月1日綾子舞街道風土市と同日開催でコミュニティ祭りを開催しました。コミセン広場での地場産野菜の販売や地域の皆さんや野田保育園の園児の力作の展示を行いました。午後にはカレーライスの振舞いやサークル・団体のみなさんのステージ発表、お楽しみ抽選会などに大勢の皆様から来場いただき、楽しい一日を過ごしていただきました。

上条コミュニティでは、11月1日に「上条えがおフェスタ」と称し、収穫されたばかりのもち米や里芋を味わえるお餅とけんちん汁のふるまい、格安地場産野菜や絶品鮎の甘露煮鮎飯などの販売を行いました。防災用具の展示にあわせ保管用缶パンの試食コーナーは好評でした。また「わたしたちが上条をえがおにしています」のコーナーでは各サークル、団体の活動を手作りポスターで紹介していただき、現在も体育館に展示しています。

別俣コミュニティでは、11月1日に風土市と同日開催で行いました。各教室の作品を始め「別俣の郷」の手芸、菊同好会の菊花展示また、芸能発表では、踊り、詩吟、合唱等盛りだくさんの内容で多くの来場者に楽しんでもらえました。幸いにも天気に恵まれ、外の朝採り野菜の販売と振る舞い餅が好調で用意したものが全て売り切れの状態になりました。また、子供向けの金魚すくい、おもちゃ販売、たい焼きにも大きな人だかりができていました。

高田コミュニティでは、10月24日、25日の2日間開催され、講堂では地域の方々が大切に育てられた150鉢の鉢物をはじめ陶芸、手芸、絵画、写真が所狭しと展示され来場者の目を喜ばせていました。

外の駐車場では、南中学校吹奏楽部と新道小学校音楽課外のオープニングで始まり、地域野菜や柿、おでん、焼きそば、うどん…美味しい出店が立ち並ぶテント村が2日間賑わせてくれました。これからも楽しみにしてくれる方々に喜んでもらえる祭りにしていきたいです。

鵜川コミュニティでは、11月1日に会場「ほたる」前広場で風土市をコミセン祭りとして行いました。

地域の農産物や豚汁、地元手打ちそばなどの販売をし、綾子舞会館では、「綾子舞」の写真・パネル展、今年度の現地公開VTRを上映しました。また地元名水の「冶三郎清水」使用のコーヒー・お茶などのサービスを行いました。

野田地区

上条地区

別俣地区

高田地区

鵜川地区

先進地視察研修を行いました

11月26日（木）、27日（金）

第五学区コミュニティ振興会と意見交換会

コミュニティ推進協議会では、山形県鶴岡市へ先進地視察研修を行い、会長、センター長、主事等の合計26名が参加しました。

山形県鶴岡市は、平成十七年に6市町村が合併し、人口は山形県内第2位、面積第1位の自治体です。

地域コミュニティの特色を生かすための補助制度や地域が主体的に解決できるよう地区担当職員制度を導入しおり、コミュニティづくりの先進地です。

1日目は、第五学区コミュニティ振興会と意見交換及び交流会を行いました。意見交換ではお互いのコミュニティ活動の現状や施策について話し合い、地域の活性化を図るための専門部会や講師の選定方法など学ぶべき点がたくさんありました。

意見交換会後は移動し、第三学区コミュニティセンターを視察しました。この施設は市の保健や福祉機関、社会福祉協議会など諸団体との複合施設で、公共施設の在り方についても参考になりました。

2日目は、出羽三山精進料理の伝統を継承するとともに出羽三山の信仰・歴史・文化を一体のものとしてPR活動を行っている「出羽三山精進料理プロジェクト」から活動内容や精進料理について説明を受けました。

視察研修を終え、先進地との意見交換や視察で、今後の自分たちのコミュニティに活かせる情報や知識を得ることが出来ました。

コミュニティ活動展を開催しました（御礼）

12月12日（土）から18日（金）

ソフィアセンター2階展示ホールで12月12日から18日まで活動展を開催しました。7日間で約800人もの多くの方からご来場をいただき、コミセンや地域で作成した作品や郷土料理のレシピ、風習、活動風景などたくさんのコミュニティ資源を伝えることが出来ました。

柏崎駅コミュニティ掲示板

柏崎駅待合室の掲示板には、季節にちなんだコミュニティの情報やお知らせ、地域活動の様子や風景などを掲示しています。

駅にお立ち寄りの際は、
ぜひ待合室の掲示板もご覧ください。

編集後記

入学式や入園式など、4月から新しい年度が始まります。気持ちもなんだかわくわくしますね。

コミュニティセンターでも次年度に向けて、事業計画を計画中です。地域が元気に、わくわくするような事業を計画しておりますので、皆さまぜひお越しください。